

令和7年度 北海道中標津高等学校シラバス

教科名	論理国語	単位数	2 単位	学年・学科	2 年 普通科必修
教科書	三省堂『精選 論理国語』	副教材	第一学習社『ネクスト常用漢字』 数研出版『プレミアムカラー国語便覧』		
教科目標	(1) 知識及び技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。			
	(2) 思考力、表現力、判断力等	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
	(3) 学びに向かう力・人間性等	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
授業内容 進め方	テキスト(文章)を用いての授業が基本です。教材を取り扱いながら読むことと書くことについて授業します。板書や必要な記録をノートやプリントに書き、時にタブレット端末を用いた活動も行います。				
授業の留意点	丁寧な文章理解が求められるので、自分や他人の集中を乱すことなく取り組みましょう。国語便覧とネクスト常用漢字のテキストも活用します。準備しておきましょう。				
学習方法 (アドバイス)	書かれている文章には、何かしらの「論理(≒規則性のようなもの)」があります。それを「一文」→「段落」→「全体」と、読みの幅を広げていく姿勢が求められます。これは、「読む」ことだけではなく、「書く」こともそうですし、授業における説明などを「聞く」ことも、そして、説明をする(=「話す」)ことでも求められます。文章と向き合うことをとおして、国語が持つ「論理」について理解してください。				
課題・補習	長期休業中をはじめ、適宜プリント等の課題があります。				
試験について	10回程度を予定しています(年間指導計画参照)。 単元を更に細かく割り振ると回数が増えることもあります。				
評価の 観点・方法	評価の観点	評価方法			
	①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けた度合いを評価します。			
	②思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力や、創造的に考える力、他者との関わりの中で伝える、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることの度合いを評価します。			
	③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深める姿勢や、読書をはじめとする国語に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度等を評価します。			
備考					